

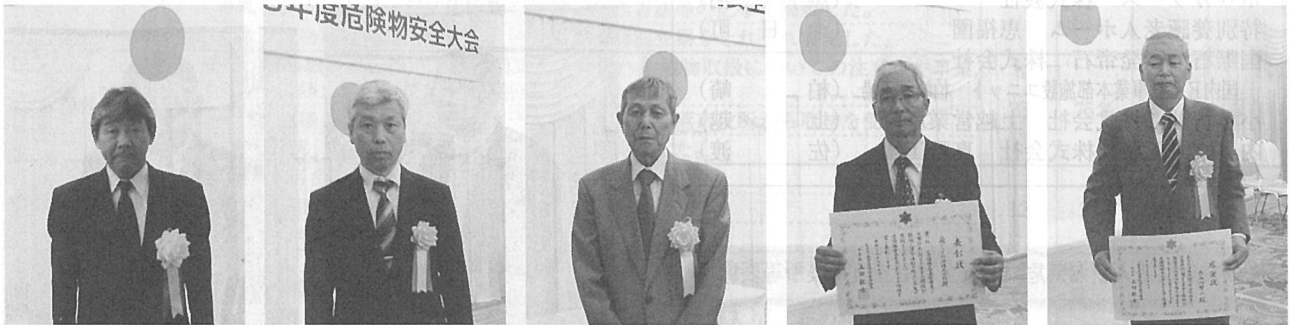
第200号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2
新潟県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会
TEL 025-285-3490
発行者 理事長 中西 一 則
編集者 事務局長 山崎 俊雄
印刷 (株)ハイングラフ



平成29年度全国危険物安全大会が開催され
消防庁長官表彰・全危協理事長表彰式が行われました

平成29年度全国危険物安全大会が6月5日(月)東京都内「ルポール麹町」で開催され、全国の保安功労者や優良事業所に対して表彰が行われました。当協会からは、消防庁長官表彰及び一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰を次の方々、事業所が受賞されました。誠にありがとうございました。栄えある表彰は、受賞されました皆様の災害防止に対する不断の努力の賜物であり会員一同心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。



宝商事株式会社
代表取締役
山田隆一 氏

小林純男 氏

庭山與一 氏

上越ツバメ石油株式会社
代表取締役
金沢光教 氏

長谷川賢二 氏

〔消防庁長官表彰〕

優良危険物関係事業所 宝商事株式会社 代表取締役 山田隆一 (村上岩船) (敬称略)

〔(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰〕

危険物保安功労者 小林純男 (公財) 新潟県危険物安全協会評議員 (三市北蒲原)

危険物保安功労者 庭山與一 (公財) 新潟県危険物安全協会
三市北蒲原地区支会理事 (三市北蒲原)

優良危険物関係事業所 上越ツバメ石油株式会社
代表取締役 金沢光教 (糸魚川)

感謝状 長谷川賢二 (公財) 新潟県危険物安全協会前理事 (十日町)



お陰様で 第200号

「協会だより」は昭和35年7月1日に創刊して以来、57年余りの歳月を重ねて200号となりました。

この間の協会会員各位のご支援に心から感謝申し上げます。

平成29年度優良事業所等表彰式を挙

5月23日(火)新潟市において平成29年度関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰の伝達式及び平成29年度優良事業所等表彰式が新潟県知事(代理 信田直樹新潟県防災局消防課長)、新潟県消防長会会長(代理 涌井勇人新潟市消防長会会長代理)ほか、関係者多数の御臨席のもと盛大に挙行されました。

保安管理体制が模範的で、危険物の安全管理等に顕著な功績があった個人・事業所の皆様が受賞されました。会員一同心からお祝い申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

◆ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰 ◆

〔個人〕

星野 昭 榮 (見 附)
若林 信 正 (佐 渡)

〔事業所〕

有限会社 高嶋商店 (三市北蒲原)
株式会社 ライフサポート北越後 (三市北蒲原)
越後中央農業協同組合 本店 (新 潟)
沼権石油店 (燕・弥彦)
美峰酒類 株式会社 新潟支店 (長 岡)
ホリカフーズ 株式会社 (魚 沼)
特別養護老人ホーム 恵福園 (十 日 町)
国際石油開発帝石 株式会社
国内E&P事業本部施設ユニット 柏崎工場 (柏 崎)
小林石油 株式会社 上越営業所 (上 越)
内藤電誠工業 株式会社 真野工場 (佐 渡)



中西理事長による表彰

◆ 公益財団法人新潟県危険物安全協会優良事業所等表彰 ◆

● 優良事業所

〔下越地区〕

医療法人 新光会 村上記念病院 (村上・岩船)
株式会社 西しばた自動車学校 (三市北蒲原)
オリエント化学工業 株式会社 新潟事業所 (三市北蒲原)
立川ブラインド工業 株式会社 新潟工場 (三市北蒲原)
株式会社 新潟日報社 (新 潟)
佐藤塗料 株式会社 新潟営業所 (新 潟)
新潟運輸 株式会社 燕支店 (燕・弥彦)

〔中越地区〕

角利産業 株式会社 (三 条)
医療法人社団 しただ (三 条)
株式会社 コメリ コメリパワー 加茂店 (加 茂)
社会福祉法人 人と緑の大地
高齢者福祉施設 すずらんの園 (見 附)
メック 株式会社 長岡生産センター (長 岡)
特定医療法人 楽山会 三島病院 (長 岡)
株式会社 魚沼運輸 (長 岡)
株式会社 クラサワ (小 千 谷)
伊米ヶ崎建設 株式会社 (魚 沼)
株式会社 ケンベイミユキ (十 日 町)
十日町地域森林組合 (十 日 町)
有限会社 大塚金物店 モービル石油塩沢給油所 (南 魚 沼)
高浜観光開発 株式会社 柏崎カントリークラブ (柏 崎)



新潟県知事祝辞
(信田直樹新潟県防災局消防課長)



新潟県消防長会会長祝辞
(涌井勇人新潟市消防長会会長代理)

〔上越地区・佐渡地区〕

新潟サンリン 株式会社 直江津支店 (上 越)
上越酒造 株式会社 (上 越)
有限会社 けいなん石油 (上 越)
進工業 株式会社 新潟工場 (糸 魚 川)

● 優良管理者

有限会社 樋口 樋口 俊 (五泉東蒲原)

● 優良危険物取扱者

社会福祉法人 松ヶ崎デイサービスセンター まつさきの里
長島 浩義 (佐 渡)

● 製造所等以外の会員事業所

合資会社 中北車体工作所 (新 潟)
三和薬品 株式会社 (新 潟)

(敬称略)

平成29年度臨時評議員会及び 第1回理事会が開催されました ～平成28年度事業報告・決算の承認、評議員の選任ほか～

平成29年度臨時評議員会、平成29年度第1回理事会が5月23日(火)新潟市において開催されました。会議の冒頭に中西理事長から「皆様方には引き続き事故防止のための活動に今後とも積極的に取り組んでいただきたい。協会としても危険物施設での事故防止とそのため安全管理体制の確立、危険物取扱者の資質向上を促すための取組など危険物に関する安全の確保を引き続き進め、公益法人として、会員並びに県民の利益の増進につながるよう努めていく。」という挨拶がありました。

臨時評議員会では、任期満了となる全評議員の改選が行われました。その後、平成28年度事業報告及び決算状況の事務局説明と質疑応答を行いました。

第1回理事会では、決算関係議案の審議を行い、平成28年度事業報告・収支決算が承認可決されました。その後、この平成28年度収支決算を定時評議員会で承認可決していただくための平成29年度定時評議員会及び新評議員による評議員会会長を選定するための平成29年度第2回臨時評議員会の招集を決めていただきました。

平成28年度事業につきましては皆様のご協力をいただきまして、全事業を円滑に実施することができました。感謝申し上げます。平成29年度も平成28年度と同様に事業計画に沿って着実に事業を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



小方評議員会会長

【臨時評議員会提案議案】

- 第1号議案 評議員の選任について
報告事項 平成28年度事業及び決算状況について報告

【第1回理事会提案議案】

- 第1号議案 平成28年度事業報告案の承認について
第2号議案 平成28年度収支決算案の承認について
第3号議案 平成29年度定時評議員会の招集について
第4号議案 平成29年度第2回臨時評議員会の招集について



中西理事長 挨拶



評議員会、理事会

平成28年度決算が承認されました

5月23日に開催された平成29年度第1回理事会で承認された平成28年度決算関係議案が6月8日に開催された書面による平成29年度定時評議員会で承認されました。

これもちまして、平成28年度決算の承認手続き

が終了いたしました。

【定時評議員会提案議案】

第1号議案 平成28年度収支決算の承認について

新評議員会会長が選定されました

新評議員により評議員会会長を選定する平成29年度第2回臨時評議員会が、定時評議員会終結後に書

面により開催され、佐藤 裕幸氏が新評議員会会長となりました。

当協会ホームページの「情報公開」に事業報告、決算書等を掲載しましたのでご覧ください。

<http://niigatakiankyo.sakura.ne.jp>

賛助会員を募集しています

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会等を通じて防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会ではこの目的に賛同し、活動に協力してくださる賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には「協会だより」等をお送りするほか、ホームページ及び協会だよりでご芳名等を紹介させていただきます。また、賛助会費は寄附にあたり、税制上の優遇措置もあります。詳細は当協会のホームページをご覧ください。

現在の賛助会員の内、法人会員は次の3社（五十音順、敬称略）です。

<p>(有) エステック 〒950-2023 新潟市西区小針1502番地3 電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009 地下タンク等定期点検認定事業者 移動貯蔵タンク定期点検認定事業者</p>	<p>(有) オイルメンテナンス新潟 〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1番50号 電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051 地下タンク等定期点検認定事業者 http://e-abura.jp/</p>	<p>(株) 羽生田 〒948-0036 十日町市川治2116番地1 電話：025-757-8511 Fax：025-752-4855 地下タンク等定期点検認定事業者</p>
---	--	---

平成28年の危険物事故発生状況について

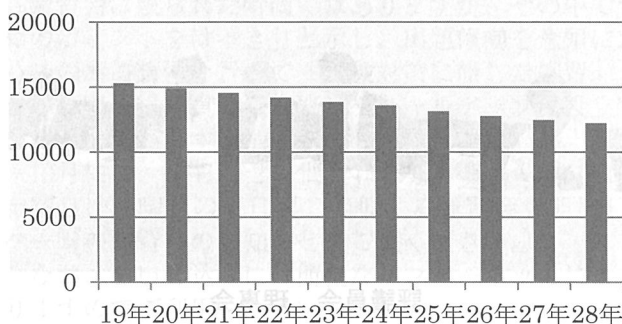
～自主保安体制の確立と流出事故対策の徹底を～

新潟県防災局消防課

平成28年に県内で発生した危険物施設に係る事故の概要をお知らせします。これらを参考に事故防止対策の推進を図ってください。

1 新潟県の事故発生状況

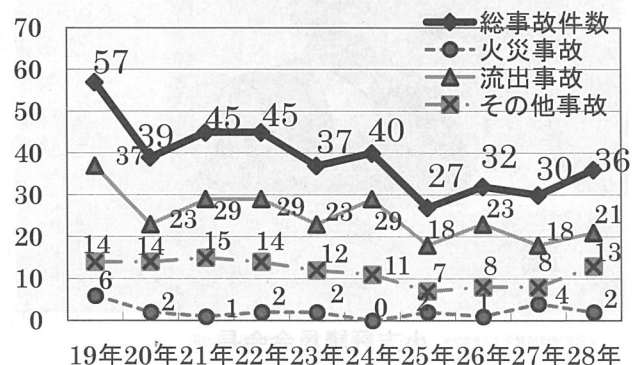
新潟県の危険物施設数



(1) 危険物施設数と事故発生件数の推移

県内の危険物施設数は年々減少しており、平成28年3月31日現在12,245施設となっています。事

平成28年の事故件数



故件数も漸減傾向にありましたが、平成28年は前年の30件から36件へと増加しました。

(2) 火災事故

平成28年は2件発生し、前年より2件減少しました。

過去5年間では9件発生していますが、発生要因は人的要因が最も多く、誤操作及び維持管理不十分が各2件、操作確認不十分が1件で合計5件となっています。

(3) 流出事故

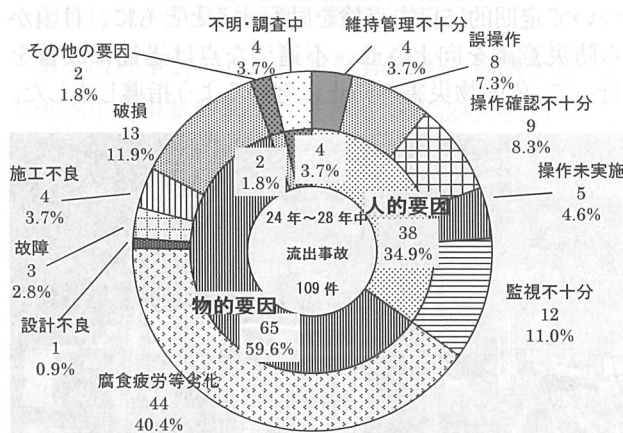
平成28年は21件発生し、残念ながら前年より3件増加しました。

過去5年間では109件発生していますが、発生要因は物的要因が65件と最も多く、人的要因が38件となっています。

物的要因の内訳では「腐食疲労等劣化」によるものが44件で約7割を占めています。人的要因の内訳では、「監視不十分」が12件と最も多く、次いで「操作確認不十分」が9件となっています。

また、「腐食疲労等劣化」が要因である事故の流出箇所をみると、地下配管が16件、地上配管が8件、管継手が4件で、いわゆる「配管」からの流出事故が64%となっています。

流出事故の要因別件数等

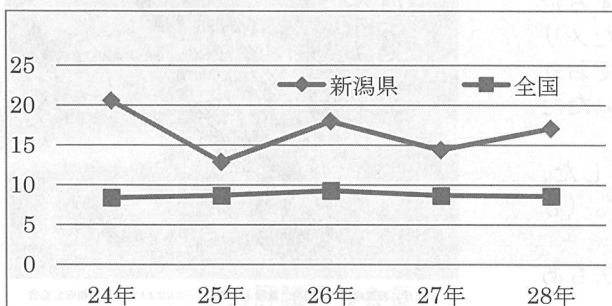


2 新潟県の事故発生傾向

新潟県の事故発生率を全国と比べると、火災事故と流出事故で大きく異なっています。

火災事故では、発生率が非常に低くなっており、平成28年も2件の発生に止まり、大変好ましい状況が続いています。一方、流出事故は全国と比較して倍近くの高い発生率で推移しており、平成28年は、特に、セルフ給油所において給油後にノズルを戻す際に誤ってレバーを握って流出させ、子供にかかるなど極めて危険な事故が3件も発生しています。

流出事故発生率（年間、1万施設あたり）



3 事故防止のために

① 自主保安体制の確立

危険物事故は、一旦発生すると加速度的に拡大するおそれがあり、危険物施設のみならず、周囲にまでその影響が及びます。事故防止には自主保安体制の確立が欠かせません。

- ・事業所トップが先頭に立って事業所全体の事故防止態勢を確立させる。
- ・想定される全てのリスクに対して、適時・適切に対策を講じる。
- ・保安教育を充実させて人材を育成し、保安技術を伝承する。
- ・マニュアル(手順書)の背景にある原理原則(ノウホワイ)を理解させる。
- ・事故事例を学んで自社の危険性を把握し、事前の安全対策を実施する。

② 流出事故防止対策

腐食疲労等劣化による事故の対策は平成28年4月1日号で、セルフ給油所での事故防止対策は平成28年1月1日号で御紹介してきたところです。改めて要点をまとめます。

なお、**日常点検及び在庫管理を徹底して事故の早期発見に努めることは基本**です。また、平成28年の事故事例から、配管は埋設よりは耐腐食環境がよいビット内とし、腐食に強い配管材料(樹脂製)を検討することも重要です。

腐食疲労等劣化事故対策

- ・30年経過すると事故が多発するので、適切な期間で配管等を更新する。
- ・信頼性の高い事業者へ腐食しにくい設計施工を依頼する。
- ・防食措置(ケレン措置、塗装、防食テープ施工)は確実にを行う。

セルフ給油取扱所の事故対策

- ・最大のサービスは安全であるという観念をしっかりと持つ。
- ・確実に監視し、顧客に対しては毅然として指導する。
- ・危険性を感じたり、給油が終わったことを確認したら、直ちに給油を停止する。

③ 異常事態発生時の応急対応能力の向上

異常事態発生時に、直ちに正しい応急措置を行わないと大きな事故となってしまいます。次の点を実践して応急対応能力を向上させましょう。

- ・各事業所の態様に応じた事故対応マニュアルを作成する。
- ・正しい知識を習得させ、危険性に対する感性を向上させる。
- ・実践的な訓練を積み重ねて個人の対応能力を向上させる。

④ 震災対策の推進

日本ではどこでも地震が起こりえます。その時に備え被害を最小にしましょう。

- ・設備の耐震性能を強化する。(防火塀、配管ラック等)
- ・危険物施設周囲の建築物、工作物についても耐震化を図る。
- ・危険物の流出拡散防止措置を強化する。
- ・長時間の停電に備えた対策を講じる。
- ・迅速な復興支援のため、事前に危険物の仮貯蔵・仮取扱いの計画を策定しておく。

三条市危険物安全協会

平成29年度危険物施設巡回指導

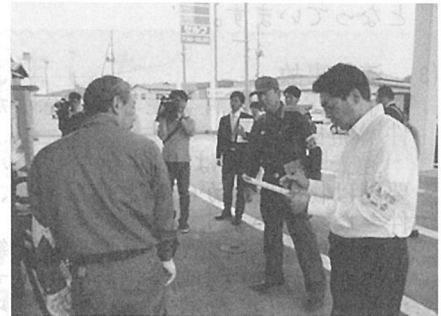
三条市危険物安全協会では、危険物安全週間中の行事として協会員と消防職員と合同で三条市内の危険物施設の巡回指導を行っています。事故防止に対する保安意識の高揚を図ることは勿論のこと、消防職員との連携を図る為にも良い機会となっています。

今年度は、6月7日(水)に三条市内の給油取扱所、特にセルフスタンドを重点的に巡回いたしました。12施設を協会員6名、消防職員3名の計9名を3班に分け、1班3人編成で巡回し、指導を行いました。普段から顔の見える関係を築いている為かスムーズに実施され、大きな指導事項も無く、全体的に維持管理状態が良い印象を受けました。

広報活動の為、マスコミ各社へ情報提供したところ、

テレビ取材を受けることとなりました。緊張した面持ちのテレビ放映となりましたが、非常に反響が大きく効果的な広報が出来たものと考えております。

今後も、消防職員と連携を図りながら、会員事業所の安全対策、自主保安体制を強化し、危険物の事故防止に努めてまいります。



柏崎地区支会

危険物安全週間における広報活動及び立入検査

柏崎地区支会では、6月4日から6月10日までの危険物安全週間に伴い、柏崎市消防本部前に「危険物安全週間」ののぼり旗を掲揚するとともに、庁舎玄関にアピールパネル、消防業務車両には「危険物安全週間実施中」のPR用マグネットシートを貼付し、危険物の安全管理について事業所及び地域住民に広報活動を実施しました。

消防職員による立入検査を、一般取扱所及び地下タンク貯蔵所等の8事業所20危険物施設に対して実施し、施設の保安全管理等を呼びかけました。また、平成28年8月17日に神奈川県鎌倉市において発生した、懸垂式の固定給油設備が設置された給油取扱所のキャノピーが崩落し、キャノピー上の固定給油設備の配管からガソリンが流出した事故事案を受け、給油取

扱所に対して建築物の柱及び屋根の亀裂等の有無について定期的に自主点検を励行するとともに、日頃から防災意識を向上させ、不適切な点は迅速に改善を行って、危険物災害の防止に努めるよう指導しました。



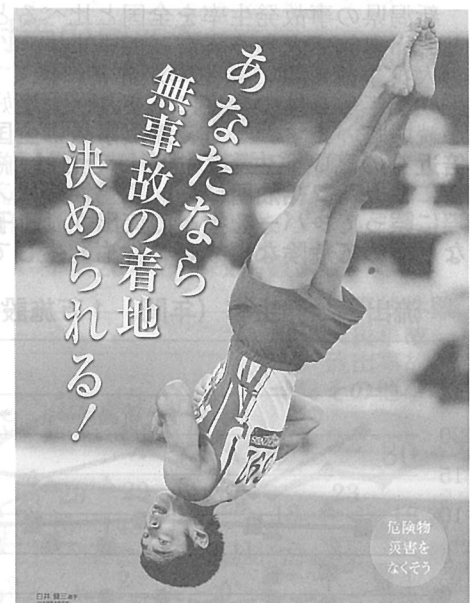
受験準備講習会に参加しませんか!!

受験準備講習会は、受講者から大変好評をいただいております。昨年度のアンケート調査によれば、94%の方から「受験勉強の参考になるよい講習会だった」との回答をいただきました。また、合格するためには講習会受講後の学習が不可欠ですが、このために必要な「試験に重要な部分」がよく解った方も80%に達しています。

講習会は限られた時間ではありますが、その中で合格するためのポイントをはっきりと示し、出題傾向を念頭においたメリハリのある講習を行って「試験対策に徹した講習」としておりますので、従業員の資格取得やスキルアップに役立てていただきたいと思っております。

10月には、平日の2日間では参加が難しい方を対象とした、土曜日、日曜日の1日間で開催する講習会も開催します。(8ページの講習会のお知らせをご覧ください。)

なお、お申し込みには簡便なインターネットによる方法もありますのでご利用ください。



平成29年度危険物安全週間事業が行われました

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進することにより、各事業所における自主保安体制の確立を図るため、6月4日から10日までの7日間にわたり、全国で「危険物安全週間」が実施されました。県内におきましても、下表のように各地区支会(地

区協会)で様々な取組が行われました。来年度におきましても、これらを参考にされまして、効果的な安全週間活動を実施していただきますようお願いいたします。

地区支会(地区協会)の特徴的な活動の実施状況

地区支会名 地区協会名	広 報 活 動 の 概 要 等	事業所訪問 (立入検査)			状況等 所要日数
		事業所数	消 防 会 員		
村上・岩船	・消防本部と一緒に、危険物施設の立入検査を行った。	17	2名	1名	4日
三市北蒲原	・「FMしばた」でスポット放送を実施するとともに、事故及び災害の未然防止のため会員事業所入り口等に垂幕を掲示した。 ・消防本部と合同で危険物施設の立入検査を実施し、災害及び事故に対する意識の高揚、施設の適正な維持管理と保安体制の確立、定期点検の実施等の指導を行った。	109	119名	5名	7日
新 潟	・全支会員に対し「危険物安全週間運動実施中」旗の掲出を依頼した。	-	600名	-	7日
五泉東蒲原	・阿賀町情報ネットワーク (TV電話) 及び五泉市テレホンサービスにより、「危険物安全週間」について住民に広報活動を実施した。 ・安全週間広報用消防写真新聞「危険物安全週間号」を会員事業所に配布した。 ・市の広報紙及びホームページに危険物の保管、取扱方法等の記事を掲載した。 ・五泉市では危険物施設の立入検査を、阿賀町では特別査察をそれぞれ実施した。	18	85名	-	9日
燕・弥彦	・協会役員と消防職員が広報車4台に同乗し、住民へ危険物取扱についての注意点や事業所に対する事故防止について広報を実施した。 ・三条新聞社、越後ジャーナル、ケンオー・ドットコム、燕市役所から取材を受ける。 ・「危険物安全週間」PR用垂幕を会員事業所に一斉掲示した。	23	75名	-	5日
三 条	・「三條新聞」に「危険物安全管理運動」の広告を掲載した。 ・NST、UX、NHKからTV取材を受けた。 ・3班体制で危険物施設の巡回指導を行った。	12	3名	6名	1日
加 茂	・ミス雪椿を一日消防署長に招き、地区支会会長以下15名で、ポケットティッシュ (標語入り)、花の種等を配布し、広報活動を行った。 ・幼稚園等を訪問し、園児約300名にポケットティッシュ (標語入り)、花の種を配布した。	-	-	-	-
見 附	・協会役員と消防職員で、広報車両により市内巡回広報を実施するとともに、危険物施設の立入調査及び施設管理指導を実施した。	22	4名	6名	5日
長 岡	・会費納入通知書送付の封筒に安全週間標語を印刷して危険物安全週間を広報した。 ・新潟日報(6月5日朝刊上中越版)に危険物安全週間の広報を掲載して、事故防止の啓発を図った。	-	-	-	-
小 千 谷	・立入検査を実施し、地下貯蔵タンクに係る流出防止対策を説明した。	12	24名	2名	14日
魚 沼	・「危険物安全週間」PR用のぼり旗を協会加盟の給油取扱所に掲示した。 ・危険物施設等の立入検査を行なうとともに、給油取扱所において避難誘導、初期消火、通報訓練を実施した。	9	21名	6名	7日
十 日 町	・「危険物安全週間実施中」と表記した桃太郎旗を掲揚した。 ・協会関係者による危険物の適正な取扱等の啓発活動及び消防職員による立入検査を実施した。	151	104名	19名	27日
南 魚 沼	・危険物安全週間ポスターを給油取扱所等の危険物施設に掲示してもらった。 ・消防職員が屋外タンク貯蔵所への立入検査を実施し、保安指導を行った。	14	36名	-	7日
柏 崎	・アピールパネルを消防本部玄関に貼付した。 ・地下貯蔵タンク、一般取扱所の立入検査を重点的に実施し、事故事例を取り上げ定期自主点検の重要性を説明するとともに流出防止対策について指導を行った。	8	4名	-	4日
上 越	・会員事業所、主要道路及び公共施設等に横断幕、垂れ幕および立て看板を設置するとともに、消防署庁舎前の電光掲示板を利用して広報を行った。 ・行政無線による広報を行った。 ・危険物施設への立入検査を行うとともに、給油取扱所、一般取扱所での消防訓練及び避難訓練指導を行った。	41	145名	47名	33日
糸 魚 川	・糸魚川地区支会だよりの発行、糸魚川駅電子掲示板、デジタルテレビ文字放送及び糸魚川市有線テレビジョンを活用して広報、啓発活動を行った。 ・施設の維持管理状況確認、危険物取扱者免状及び保安講習受講確認。危険物取扱い及び施設の定期更新等安全対策指導を行った。	16	6名	-	3日
佐 渡	・ケーブルテレビの文字放送を利用して、広報を行った。 ・立入検査時に地区支会役員が同行し、危険物安全管理の指導及び支会事業のPRを行った。	5	8名	6名	4日

※各地区支会(地区協会)では、表に記載されている活動のほか、ポスター・パンフレット等啓発資材の配布、消防庁舎への懸垂幕の掲示、車両への広報用マグネットシートの貼付を実施していますが、共通しているため表中の記載は省略いたしました。

危険物取扱者保安講習（8月下旬以降）のお知らせ

「受講案内」及び「受講申請書」は、当協会及び各地区支会（地区協会）、消防本部（署）に用意してあります。

講習日	講習会場	講習種別			定員	受講申請 受付期間	講習会場所在り
		一般 (その他)	給油 取扱所	コンビ ナート			
8月24日(木)	村上市民ふれあいセンター	午後			135	7/20～8/3	村上市岩船3270
8月29日(火)	新潟テルサ	午前			140	7/25～8/8	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
9月5日(火)	長岡新産管理センター	午前	午後		各108	8/1～8/17	長岡市新産2-1-4
9月7日(木)	柏崎エネルギーホール	午前			120	8/3～8/17	柏崎市駅前2-2-30
		午後			120		
9月11日(月)	南魚沼市 ふれ愛支援センター	午後			150	8/7～8/21	南魚沼市坂戸399-1
9月15日(金)	糸魚川建設会館	午前			84	8/10～8/25	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
9月21日(木)	上越人材ハイスクール	午後			120	8/18～8/31	上越市高土町3-1-15
9月22日(金)			午前	午後	各120		
10月3日(火)	新潟テルサ	午前		午後	各140	8/29～9/12	新潟市中央区鐘木185-18
10月24日(火)	小千谷市総合福祉センター サンラックおぢや	午後			150	9/19～10/3	小千谷市大字桜町5140
10月26日(木)	加茂市産業センター	午後			120	9/21～10/5	加茂市幸町2-2-4
11月2日(木)	新発田市生涯学習センター	午後			300	9/28～10/12	新発田市中央町5-8-47
11月7日(火)	新潟テルサ	午前	午後		各140	10/3～10/17	新潟市中央区鐘木185-18
11月10日(金)	長岡新産管理センター	午前			108	10/6～10/20	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
11月16日(木)	燕三条地場産センター メッセピア	午後			150	10/12～10/26	三条市須頃1-17
11月22日(水)	上越人材ハイスクール	午前		午後	各120	10/18～11/1	上越市高土町3-1-15
2月14日(水)	新潟テルサ	午前			140	1/10～1/24	新潟市中央区鐘木185-18
2月15日(木)		午後			140		
		午前		午後	各140		

<午前の場合> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分
 <午後の場合> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

合格への近道

危険物取扱者乙種第四類試験受験準備講習（10～3月）のお知らせ

「講習案内」、「受講申込書」は、当協会、各地区支会（消防本部・署）に用意してあります。
 また、お申し込みが簡単なインターネットによる方法もあります。協会ホームページをご覧ください。

講習日	講習会場	定員	申込受付期間	講習会場所在り
10月7日(土)★1日講習	上越市市民プラザ	100	9月8日～9月29日	上越市土橋1914-3
10月11日(水)～12日(木)	長岡新産管理センター	80	9月13日～10月4日	長岡市新産2-1-4
10月15日(日)★1日講習	新潟テルサ	100	9月15日～10月6日	新潟市中央区鐘木185-18
1月17日(水)～18日(木)	長岡新産管理センター	80	12月20日～1月10日	長岡市新産2-1-4
1月23日(火)～24日(水)	上越市市民プラザ	100	12月26日～1月16日	上越市土橋1914-3
1月25日(木)～26日(金)	新潟テルサ	100	12月28日～1月18日	新潟市中央区鐘木185-18

<講習時間> 2日間講習の場合：1日目午後1時30分から午後4時30分まで（物理/化学）
 ：2日目午前9時30分から午後4時30分まで（燃焼消火/性質等・関係法令）
 1日講習の場合：午前9時30分から午後6時30分まで（物理/化学・燃焼消火/性質等・関係法令）
 （1日講習は、10月7日、10月15日のみです。）

**保安講習、受験準備講習とも、定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。
 協会のホームページのインフォメーションをご覧ください。**

平成29年度危険物取扱者試験（10～3月）

((一財)消防試験研究センター新潟県支部)

「試験案内」、「受験申込書」は、県内の消防本部（署）及び（一財）消防試験研究センター新潟県支部に
 用意してあります。

試験日	受付期間		試験の 種類	試験実施地
	電子申請	書面申請		
平成29年	10月1日(日)	10月4日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市
11月19日(日)	～10月15日(日)	～10月18日(水)		
平成30年	1月7日(日)	1月10日(水)	全種類	新潟市、長岡市、上越市
3月3日(土)	～1月21日(日)	～1月24日(水)		